

小規模企業景気動向調査

[2022年3月期調査]

～全業種で売上が大幅改善も、原材料高騰による採算悪化に苦む小規模企業景況～

2022年4月28日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2022年3月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…全業種で売上が大幅改善も、原材料高騰による採算悪化に苦む小規模企業景況…◇

3月期の産業全体の業況は、売上DIが10ポイント超、その他のDIは小幅な改善となり、1・2月の大幅な悪化からプラスに転じた。感染者数が落ち着き、まん延防止等重点措置が解除されたことから、一部業種で経済活動が活発化し、売上が増加している。しかし、原油高や資材不足による原材料高騰から、仕入高の増加につながっており、採算の悪化を招いている。また、コロナ禍の厳しい経済状況の中、価格転嫁が進まず、事業者を苦しめている。

<製造業> ◇…原材料高騰、原材料不足の影響で、採算悪化に苦む製造業…◇

製造業は、売上DIが大幅改善、採算・資金繰りDIが小幅に改善する中、採算DIのみマイナスの値を示した。食料品関連は、飲食店向けの業務用商品の売上が改善傾向にあるものの、小麦や油等の価格高騰の影響で採算は厳しくなっている。繊維業では、生糸等の値段が高騰し採算が悪化している。機械・金属業は、半導体製造装置関連での引き合いが多いが、仕入れ部品の入荷遅れにより生産が滞っている状況が続いている。また、原材料高騰に加えて最低賃金の上昇等で、製造コストが大きく増加しているとのコメントがあった。

<建設業> ◇…年度末の公共工事で好調も、資材不足による原材料高騰及び工期遅延に苦む建設業…◇

建設業は、売上DIが大幅、採算DIが小幅な改善へと転じた。豪雪による除雪作業で、対前年比を上回る売上高の事業者が増加し、また、年度末の公共工事による売上の増加が見られた。しかし、資材不足の影響がさらに拡大しており、木材に続き、陶器・金属類(鉄・アルミ等)の原材料や半導体不足等の影響のため機器・設備が入手難となり、顧客への引き渡しが遅れているとのコメントがあった。加えて、原油価格の高騰により、重機等に使用する燃料代の負担感が増しているとのコメントがあった。

<小売業> ◇…巣ごもり需要や季節需要で売上改善も、限定的な改善にとどまった小売業…◇

小売業では、売上額DIは10ポイント超、その他は小幅な改善となった。食料品関連は、巣ごもり需要で堅調を維持しており、また、一部地域で行政主導の消費キャンペーンによって売上の増加が見られたとの報告があった。衣料品関連は、入学式等の学生服関連需要で売上増加傾向も、それ以外の売上は減少傾向であるとのコメントがあった。耐久消費財関連は、世界的に半導体が品薄の中、新車は納車まで3、4カ月待ちのため、中古車の需要が増し、価格高騰が見られるとのコメントがあった。

<サービス業> ◇…感染縮小による大幅改善も、長引くコロナ禍で楽観視できないサービス業…◇

サービス業は、売上額・採算・業況DIが10ポイント超改善、資金繰りDIも改善に転じた。旅館関連は、まん延防止等重点措置の解除に伴う予約数が増加し、全DIが2桁超回復した。洗濯関連・理美容関連は、季節行事に伴う売上増加と、一部地域で行政主導の消費キャンペーンによって売上が増加している。洗濯関連は、原油価格高騰の影響を強く受け、採算が悪化しているとのコメントがあった。また、影響が長期化している状況から先行きが暗いとのコメントが目立った。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比
売上額	▲ 34.5	▲ 23.4	11.1	▲ 29.4	▲ 21.3	8.1	▲ 22.4	▲ 15.0	7.4
採算	▲ 50.9	▲ 47.1	3.8	▲ 53.4	▲ 57.1	▲ 3.7	▲ 49.1	▲ 45.8	3.3
資金繰り	▲ 41.2	▲ 37.7	3.5	▲ 42.7	▲ 40.8	1.9	▲ 36.1	▲ 35.6	0.5
業況	▲ 44.6	▲ 39.7	4.9	▲ 44.9	▲ 43.8	1.1	▲ 35.1	▲ 34.2	0.9

業種	小売業			サービス業		
	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比
売上額	▲ 35.9	▲ 23.7	12.2	▲ 50.1	▲ 33.7	16.4
採算	▲ 48.9	▲ 45.4	3.5	▲ 52.0	▲ 40.4	11.6
資金繰り	▲ 40.4	▲ 37.7	2.7	▲ 45.5	▲ 36.5	9.0
業況	▲ 43.7	▲ 40.4	3.3	▲ 54.6	▲ 40.2	14.4

注) DI (景気動向指数) は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

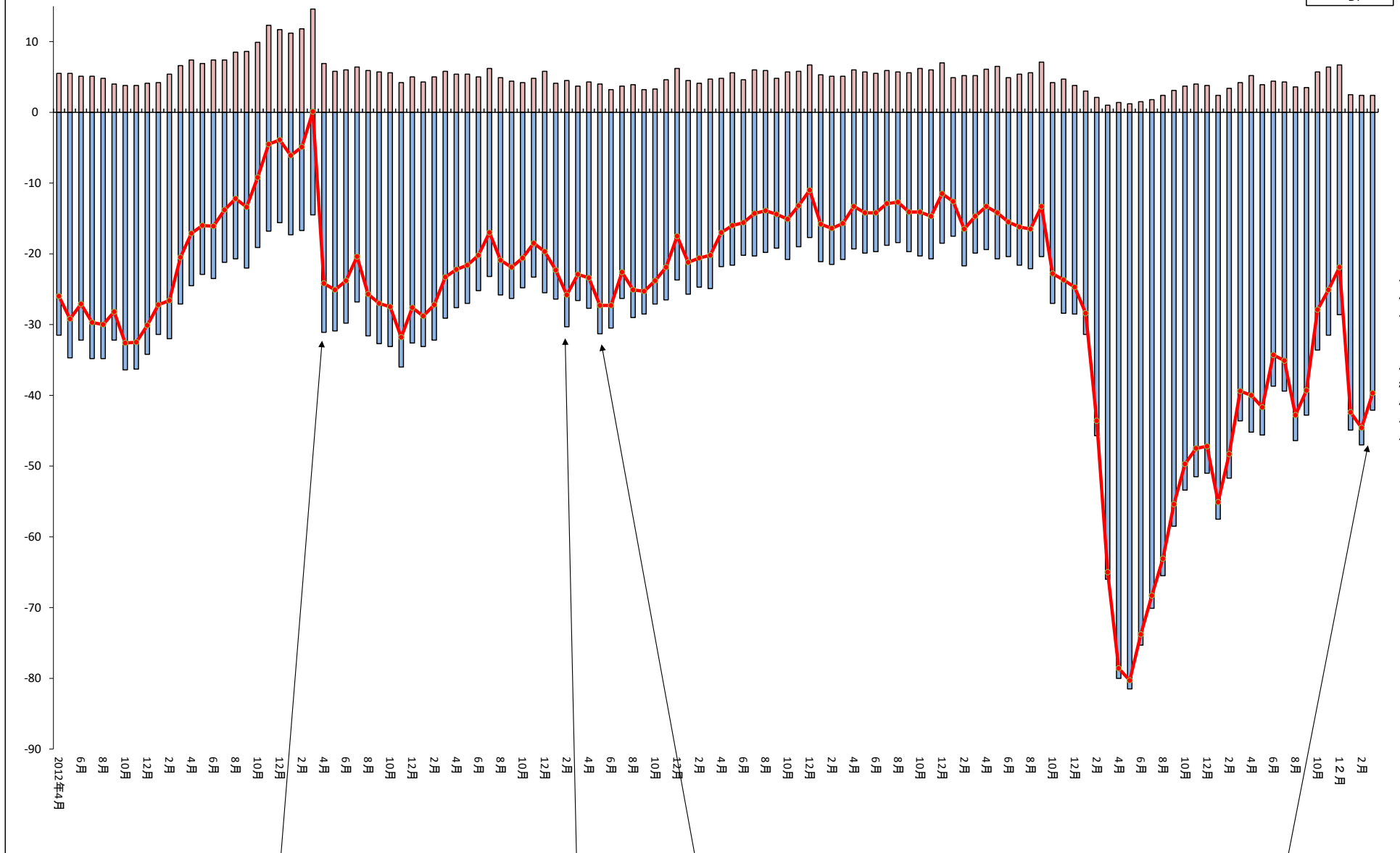
全国商工会連合会 政策推進部 事業環境課

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:元木

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■ 悪化
■ 好転
— DI



14年4月
消費税率8%に引上げ
(-24.2)

16年2月16日
日銀マイナス金利導入
(-25.8)

16年4月
熊本地震 (-23.4)

22年3月
(-39.7)

小規模企業景気動向調査(3月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

まん防が解除されたことで回復傾向に向かうことを期待。

(山北町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

2月に引き続き管内でのオミクロン株の感染が拡大し、外出自粛の影響により特に飲食業や宴会对応する宿泊施設が厳しい状況となっており、管内飲食業者の廃業も発生した。また、事業復活支援金の申請相談も継続して増加しており、事業資金が枯渇しこのままでは廃業しなければならないなど不安の声が聞かれる。各団体より市に対して令和4年度の支援要望が出されており、市ではプレミアム付商品券の発行や事業継続支援金の支給により事業継続を下支えする対策を講じる予定としている。

(かづの商工会)

産業全体的には、新型コロナウイルス感染症の影響が継続しており、景気が停滞している状況にある。更に、ウクライナ情勢により原油価格の高騰が追い打ちをかけ、今後様々な業種に影響を及ぼすことが懸念される。4月からは、幅広い分野で物価上昇の兆しがみられることから、少しでも安いうちに仕入れておこうという動きが業者でも見受けられ、駆け込み需要の消費は一部に見られるものの、その反動は必ずやってくるものと想定している。新年度への切替えに向け、本来であれば消費が活発となる時期であるのだが、全体的にそのような動向が見受けられないのが現状であります。

(会津美里町商工会)

建設業は地方でも業況が良くなってきているように感じられ、宿泊業も昨年同期よりは業況が改善していると思われる。しかしながら、コロナ禍前から資金繰りに窮していてコロナ関連の特別融資で元金返済猶予によりなんとかつないでいた宿泊事業者の中には、元金返済開始により資金ショートを起こして倒産すると危惧されているところが散見される。また、食料品を中心とした物価上昇が、幅広い業種において事業者の採算悪化をもたらしており、建設業以外では景気が好転しているとは感じられない。

(妙高高原商工会)

3月にまん延防止は解除され徐々に外出機会が増えてきていることに伴って、売上も少しずつ増えてきているが、材料費が高騰していることから、仕入単価の増加による負担が大きい。どの業種も利益を確保することが難しい状況にあります。支援金等により、現状継続できているが、今後コロナ禍での新たな事業展開、販路開拓をしていかなければ厳しい。飲食店については時短・休業要請が終了し今後の来店増加を期待しているが食材価格高騰の懸念がある。全業種において、コロナ、ウクライナ問題による原油高、原材料価格上昇の影響を今後注視する必要がある。小売、サービス業においてはさらに人流が戻らないため軒並み景況は低迷している状況である。

(みまさか商工会 勝央支所)

3月に入りまん延防止重点措置が解除される頃から、人の流れも戻ってきている。感染拡大が収束したわけではないが、以前に比べ地域内での感染者発生にも極端な反応を示すことは少なくなってきたように感じる。春休みシーズンでもあり、県外からの人流も増えているが、各事業所は引き続き感染防止対策を徹底し事業を継続している。確定申告のシーズンでもあり、事業所の年間業績を見る中で、個人のお金の使い方に変化が見られた。特に外向けの支出が減っていることから、自身への投資を行う傾向があるようで、ネイルサロンなどの業種で業績を伸ばしている事業所があったのが印象的だった。

(四万十町商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

<食料品>3月中旬以降、県内感染者数が落ち着いてきたことで、飲食店の来店客数は改善傾向にある。それに伴い小麦・油等の原材料費高騰の悪影響はあるものの、最悪の状態からは脱しつつある。<繊維工業>環境負荷低減を目的とした新素材商品の開発やそれに関連する需要が目立つ。夏季・冬季オリンピックの影響でスポーツ衣類も好調であり、アパレル関連も今後の兆しは明るい。<機械・金属>関東圏のプラント建設や銅需要の拡大に伴う受注が堅調。依然として原材料の確保には難儀しており、価格転嫁を試みているが、それによる売上や取引先の減少は今のところない。

(射水市商工会)

前月と比較すればやや持ち直してはいるものの、オミクロン株の影響で売上高の減少が継続しているが、後半に入り、若干回復。生地などが値上がり傾向。材料支給の受注が中心であるため、経営に大きな影響はなし。原材料高騰も、材料支給の事業形態の為影響は少ない。電力代についても年間契約の為現状において影響はない。

(中部商工会産業支援センター)

<悪化傾向を示すコメント>

食料品…4月1日より調味料、原材料が値上げされることを踏まえ、価格転嫁できるか検討。今後消費者の買い控え等も懸念されることから慎重に見極めたい。繊維工業…新型コロナウイルス感染症の長期化により個別取引の受注量は安定していないが、紹介等で取引先を開拓しながら売上保持に取り組んでいる。今後、燃料費や材料費の高騰が懸念される等、国外情勢による影響も予断を許さない。機械・金属…主要取引先からは自社能力を超える受注情報があり、同業を巻き込んで対応中。他にも半導体製造装置関連で引き合いが多いが、仕入部品の入荷遅れにより、生産ができない状況が続いている。

(由利本荘市商工会)

食料品関連の事業者は、原材料等の高騰に価格転嫁の対応が間に合っておらず、ラグの分状況は悪化している。業務用品は変わらず低調で、小売は価格転嫁後の売れ行きに不安。繊維工業関連の事業者は、5月までの仕事はあるが高単価の仕事が少ない。首都圏アパレル販売は1年目は在庫で対応していたが、2年目は仕入れないと商品がないため、消費者需要というより販売店都合で被服製造の需要は高まっている傾向にある。機械・金属関連の事業者は、売上は上昇傾向。材料は鉄関係は高止まり状態であるが、非鉄はまだ上昇している。燃料(軽油、ガソリン)の上昇による上乗せとアルミなどはロシア情勢によるものらし

(かづの商工会)

感染者数の減少も見られ近隣都県に発令されていた重点措置も下旬には解除されたことから徐々にではあるが引き合いや受注が増加傾向にあるものの、16日に起きた福島県沖地震などにより消費行動には繋がっていないと感じる。また先月、商品の値上げを8%ほど実施したにも関わらず値上げ分を食い潰すほどに原材料や資材、光熱費など毎月のように値上げが続いており採算の好転には見込めていない。昨年2月約200円→今月約400円となっている。他にも小麦関連1.5倍以上の値上がり先が全く見えない状況。

(北杜市商工会)

織物製造業では、生糸の値段が高騰。1万円/kg近くなり採算ベースで悪化が懸念される。

(与謝野町商工会)

取引先での内製化が進み他社への発注が減少傾向にある。また、部品が入荷しない状態で受注ができない事業所もある。

(丹波市商工会)

食料品製造業においては、昨年度から家中需要があり売上高は堅調に推移しているものの、小麦等の原材料が上昇傾向にあり、今後販売価格への転嫁等が求められる可能性が非常に高い。繊維工業においては、まん延防止等重点措置が解除されたものの卸先への客足は減少したままである。また、消費者の購入方法が多様化する中で、事業者においても対応する必要がある。機械金属製造業においては、鉄等の原材料が向上しているだけでなく最低賃金の上昇等製造コストが大きく増加している。販売価格にも転嫁しているが、今後も原材料の仕入れには苦慮するものと思われる。

(呉広域商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

当地は豪雪地で建設事業者は除雪に携わる事業者が多い。3月も一定の降雪があったので、除雪による売上は昨年よりやや増加した。また、建設業全般で仕事の引き合いが多く、人手不足により受注を調整している事業者もおり業況はやや好転している。

(妙高高原商工会)

豪雪による除雪作業で売上は昨年以上を記録するところが多い模様。

(朝日商工会)

年度末の公共工事や住宅の着工件数もコロナ禍でも伸びている。

(湖西市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

3月に発生した福島県沖地震の影響で修繕工事は増加したが、住宅新築工事は依然として低調であり、むしろリフォーム工事の増加によって減少傾向にある。

(みやぎ仙台商工会)

前月に引き続き、資材の値上がり、メーカーでの在庫不足により、工事が遅れ資金繰り難の事業所がある。

(よこて市商工会)

新型コロナウイルスの影響により、建設資材の入荷待ちが見られ、工期の延長を強いられている。平均して2ヶ月～3ヶ月待ちとのこと。また、資材単価も軒並み2割～3割程上昇。物によっては、6割ぐらい上昇している部材もあるとのことから、当初の見積通りにいかないケースが散見される。また、ウクライナ情勢による原油価格の高騰により、重機に使用する燃料代の負担割合が増加してきている。

(会津美里町商工会)

建設業は、コロナウイルス『オミクロン株』に続きロシア・ウクライナ問題の影響を受け原材料高騰のあおりを大きく受けている。木材に続き、陶器、金属類の高騰、仕入れ遅延に加え、新築案件においては半導体不足の影響も色濃く、顧客への引き渡しに至らない仕掛状態が多く見受けられる。支援機関への建設業関連からの融資の相談件数も増えており、現状は逼迫している。

(中央市商工会)

公共事業の発注は十分にあるが、人手不足により受注しきれない状態である。

(南木曾商工会)

土木関係は引き続き河川工事中心に好調。年度末・農繁期を前に工事を終える必要もあり繁忙。建築関係は、引き続き受注は確保されているものの、材料の高騰・納期の遅れ等もあり不安定な状況。

(佐久市望月商工会)

人工仕事の大工は建築部材が揃った物件の大工工事が安定してある。部材によって価格高騰している為、元請けは見積有効期限を短縮して対応するも、利益を出すことが難しい。

(浅羽町商工会)

県内の小規模事業者の建設業者については、民間の一軒家の修繕や増築等の受注で資金繰りをしている模様で、そこまで影響を受けている事業者はいない。ただし、新築の受注件数の減少や公共事業を請け負っている事業者では工期の停止等を受けて、工期が延長したことで売上げに影響を受けている事業者もいる。

(中城村商工会)

ウッドショックによる木材価格の上昇だけではなく、その他の鉄、アルミなど資材があがっていることから住宅設備等も品薄が続いており、全体的に仕入れが上昇しているのが現状である。

(嬉野市商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

中央市においては2月～3月で行政主導のPaypay30%還元キャンペーンがあったため、小売業は軒並み売上増加となっている。中でも米とガソリンが大きな恩恵を受けており、今までにない程の好調ぶりとなっている。

(中央市商工会)

コロナの影響により外出自粛を余儀なくされている世帯の増加により、食糧品の売上げが増加傾向にある。

(中城村商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

食料品の値上げが見込まれているので、消費者の買いため志向による購入額の増加が目立つが、その反動による購入額の減少が心配だという事業主もいる。

(外ヶ浜町商工会)

衣料品…例年学生服関連の売上があるため、売上・利用者数については前年同月とほぼ変わらず、年間を通して一番売上は多いが、学生服関連以外の売上は減少傾向にある。食料品…海外から輸入高騰の影響もあり、仕入価格が上昇している。このまま仕入価格が上昇していけば、価格転嫁も考えていかなければならない。耐久消費財…世界的に半導体部品が品薄で、新車は納車まで3、4か月待ちが殆どで、中古車については、多くの需要であることから価格高騰している。今のところ影響はないが、戦争の影響により外車関連の価格高騰が予想される。

(由利本荘市商工会)

衣料品関連の事業者は、前年比較で30%減。天候次第でお客様が来る日もあるが、ポイントカードのキャンペーンなどもないことも影響しているのか例年より客足減少している。食料品関連の事業者は、農業生産資材、特に肥料の高騰と品薄の状態を完全に小売価格に転嫁できず、また米価格の低下で利益が少なく、採算が悪化している。余裕ない運送業界の都合もあって、米の出荷が進まない状態で肥料の入荷をせざるを得なく、倉庫事情もひっ迫している。耐久消費財関連の事業者は、昨年3月は何も可にも中止で、全くダメだった状況に比べると、今年はイベントが動いているので若干売上が増えた。微増なので経営自体が厳しい状況に変わりはない。

(かづの商工会)

食料品はコロナ禍の影響が一段落し、業務用の納品が帰ってきたが、再びコロナ禍の影響が大きくなっており来月は売上の減少を予測している。コロナ禍による巣ごもり状態により、特に外出用衣料の動きは鈍い。またネット通販に大きく流れが取られている。家電は供給不足が続き、購買にこたえられていない。

(射水市商工会)

販売価格の見直し(値上げ)により売上額は昨年と同等を維持したが、仕入れ単価や営業資材、光熱費の相次ぐ値上げにより採算・資金繰りに悪化傾向である。また、3月に受注が多いイベント関連(卒業や移動)などの大量需要の減少や物価上昇による生活必需品以外への消費は引き続き低調傾向である。この先も明るい未来が想像できない状況である。

(北杜市商工会)

製菓小売業では、メインの原材料である小麦粉の値上がりやすさまじく、春以降も値上がりが懸念されるため商品の値上げを検討している。特に商品単価・客単価ともに小さく、これまでも値上げを積極的にしてこなかったことから、値上げによる顧客の反応が気になるところである。

(神崎市商工会)

衣料品小売業は、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛やイベント、冠婚葬祭の規模縮小等により売上は減少している。また、問屋の廃業等の煽りもあり仕入単価についても増加傾向である。食料品小売業は、昨年同様外出自粛の影響から増加傾向にあるが、仕入単価が増加傾向にあり採算及び資金繰りの見直しが必要である。耐久消費財は、コンテナ船の運行数減少や海外工場の閉鎖等もあり仕入れの目途が立たない商品もある。そのため、仕入れが競争となってしまう単価も増加傾向である。

(呉広域商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

卒業式などか保護者も出席できたおかげか、去年より来店者が多かった。コロナが急に増加したせい、予約は前日ギリギリの方が多かった

(潟上市商工会)

理美容業・洗濯業においてもPaypayの30%還元は好影響をもたらしている。特に理美容に関しては通常のサービスに加えて物販品が好調となり売上増加に繋がっている。

(中央市商工会)

旅館・宿泊所は、まん延防止等重点措置の解除に伴い予約数が徐々に増加している。都道府県ごとに行われる割引にも期待がかかる。洗濯業は、学校において卒業式等が行われた事もあり洋服のクリーニング等の受注を受けていた。理美容業は、まん延防止等重点措置の解除に伴い来店客数が増加している。

(呉広域商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

基本的に上着、ジャケット、スーツ、ズボン等に石油溶剤を使用しているが、ロシア・ウクライナ戦争により世界情勢が混沌とする中で、洗剤やビニール、ハンガーなど操業に必要な資材が急激に値上がりしていることから、経営を持続するためには、クリーニング料金の値上を考えなければならない時期に来ている。

(青森市浪岡商工会)

旅館…昨年は宿泊補助事業等が何もなく、かなり少ない利用者数だったが、それに比べ今年3月から4月末宿泊分まで本県春割キャンペーンがあり、それに併せてホテル独自の割引キャンペーンも行った結果、対前年比で売上・利用客とも好調。新型コロナ感染者数は減る気配がなく、補助事業終了後が懸念。洗濯…燃料等高騰及び石油製品高騰などの影響、また冠婚葬祭などイベント行事中止に加え、経費が掛かり増しており、経営が厳しい状況にある。理・美容業…客数及び売上は昨年をキープしているがコロナ前と比較すると70～80%のまま回復していない。高齢者顧客が多いことはもちろん、事業主自身の高齢化も大きな懸念材料となっている。

(由利本荘市商工会)

旅館や洗濯業に関しては、ワクチン検査パッケージやGoToキャンペーンに期待している。理美容業は、行く頻度を減少させてまとめて施術したいというニーズが多く、そのニーズに対応している事業者は好転しているが、単価が安く、数でこなす店舗は売上をかなり落としている。

(香取市商工会)

宿泊業については、昨年はキャンセルになった団体がコロナ禍前より延べ宿泊数が少ないものの宿泊利用があったり、常連客が戻ってきたり、工事関係者の長期利用があったりといった具合に売上がやや増加している施設が多い。洗濯業は、得意先である旅館の宿泊客数増加に比例して売上がやや回復しつつあるが、燃料価格高騰の影響をもろに受けて採算が悪化している。理美容業は、人口減少や高齢化による需要の減少という要因によりなかなか売上が回復しないところが多い。

(妙高高原商工会)

洗濯関連事業者について、冬物の入替需要が回復し、売上増加につながっている。一方で、国際的な原油価格の高騰を強く受け、洗濯資材が大幅に高騰し経営を圧迫している。価格表の見直しを喫緊の課題とし対応しているが、現場レベルでは間に合わない状態が続いている。

(畑野商工会)

理美容業では、卒業式・卒園式シーズンのため母親世代の客足がやや戻りつつあったが、一方で高齢者層の客足は戻りきっていない状況が続いている。今回の第6波は感染者の急増から減少までが長期に及んでおり、外出するにも二の足を踏んでしまう状況になっていると考えられる。なかなか回復に至らないことで資金繰りも悪化している。

(神崎市商工会)

当会においても飲食店・タクシー事業者等、コロナの影響を受けた業種からの廃業報告が徐々に増えている。コロナ感染拡大が約2年間と長期化し先行きも暗いため、今後一層廃業が増加することが懸念される。

(対馬市商工会)